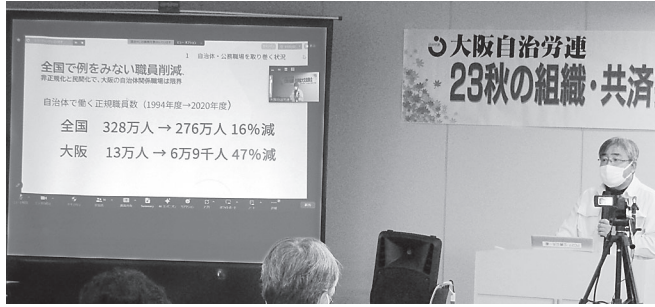




講師の中山徹さん



職場で組合を身近に感じる活動をすすめよう 安心サポート自治労連共済の仲間をふやそう

参加者の感想（抜粋）

- ◆自分だけ悩まずにみんなで話しあうこと。平和が危ない、地球温暖化、少子化、デジタル化、民間丸投げに対して、「まちづくりは人づくり」という立場から労働組合の役割は大きい。（堺市職労）
- ◆公共性が失われつつあるもとで、自治体が自治・公共性を回復しないといけな。そのため自治体労働者の労働環境を改善できるようちょっとずつ動いていこうと思った。（東大阪市職労）
- ◆着実に「戦争する国」に進められている危機感。人員削減と非正規化によって、ますます自治体職場が厳しくなっている。だからこそ日々の組合活動が仲間づくりと合わせて重要になる。（高石市職労）
- ◆分散会は楽しくお話ができた。「労働組合運動はしんどいこともうまくいかなことも多いけれど、そこに楽しさを見いだせる自分でありたい」という言葉に共感した。（府職労）

みんなで仲間づくり運動を

「あなたの力 チカラが必要です」

2023秋の組織・共済拡大交流集会

10月20日

大阪自治労連は10月20日、大阪市内で自治体職場での実践や経験の交流、組織と共済拡大方針を深めるため、「秋の組織・共済強化拡大交流集会」を開催しました。寺内副委員長より「基調報告」、竹中書記次長より「自治労連共済制度」を提起しました。そして、「いまこそ公共性の再生」をテーマに講師の中山徹さん（自治体問題研究所理事長・奈良女子大学教授）から講演を受けました。午後から6人程度の分散会で活発な討論し、2024春の組織共済拡大月間に向けて取り組み強化を呼びかけました。



堺病院労組の仲間9人が白衣で参加し、「どの医療現場も困っている状況がよくわかった。全国から多くの仲間が参加してすごいな」と笑顔で感想を寄せてくれました

医療・介護・福祉の予算をまわせ

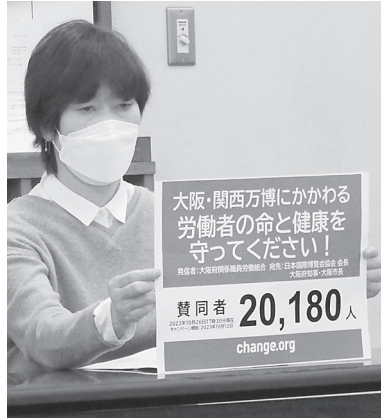
「10・19いのちまもる総行動」

日比谷野外音楽堂にて会場とオンライン視聴で全国から3100人（大阪は13人）が参加しました。いま医療・介護分野において、国の規制緩和による「働き方改革」が進んで深刻な人員不足が報告され、「医療・社会保障の拡充でいのちと人権を守る政治の転換しよう」と呼びかけ、保育士や介護福祉士、医師・看護師が厳しい現場の実態をリレートークで訴えました。集会後は、「いのちをまもれ」と銀座まで元気よくパレードしました。

今月のキーワード

ジェノサイド
（集団殺害）

イスラエルの大規模攻撃により、パレスチナ・ガザ地区の状況は、「子どもたちの墓場と化し、人々の生き地獄となっている」（ユニセフ）とも言われる深刻な危機に直面しています。国連の人権専門家7人が連名で「ジェノサイドの重大な危険」と厳しく警告。イスラエルによる攻撃は、その規模と残虐さからみて、ジェノサイド条約（1948年）が固く禁じている集団殺害となる重大な危険があります。イスラエルに対して「即時停戦を」の声をあげましょう。



10月12日からはじめたオンライン署名「大阪・関西万博にかかわる労働者の命と健康を守ってください！」
<https://chng.it/PBJGJqJh8jl>は、わずか2週間で20,180人の賛同が

要請項目

1. 万博の開催を中止すること。
2. 万博建設現場において、労働者の健康と安全を守り、労働基準法と関係法令を遵守すること。
3. 万博関連業務に従事する大阪府・大阪市職員については、業務量に見合った職員を配置し、時間外勤務の管理を徹底し、不払い・サービス残業や長時間過重労働の防止に努めること。
4. 入場チケットを自治体職員に押しつけないこと。
5. 万博関連イベントなどに自治体職員の応援を求めないこと。



「本日は受け取るのみ」としながらも「[いのちと安全を最優先に]という立場は同じ」と要請にこたえる府市万博推進局（左端）

万博協会と府市推進局への要請で、大阪自治労連の坂田委員長は「会場建設費だけでも2350億円と、当初より1・9倍に膨れ上がっている。他の経費も1・9倍と考えれば、とんでもない額に。かさんだ費用が住民福祉の向上に充てられるならば、もっといろんなことができる」と訴えました。大阪府職労の小松委員長は「コロナ禍で、多くの府職員が時間外勤務の上限規制を超えて働かなければならない状況となり、身体や心を壊してしまった職員がいる。自民党の大阪・関西万博推進本部

の会合で『工期短縮のため、超法規的な取り扱いができないのか』とか『災害だと思えばいい』という意見が出たとの報道があり、絶対に許せない。『時間外労働の上限規制』は労働者の命や健康を守るため、絶対に必要」と署名を提出しました。大阪市労組の橘波委員長は「これまでも大型開発を失敗して、負債を返済し続けている。何より、労働者を犠牲にして間に合わせようとするなら、万博が掲げる『いのち輝く未来社会のデザイン』の理念に反する」と訴えました。

輝け！憲法 平和といのちと人権を

11・3おおさか総がかり集会

異常に暑い扇町公園へ5000人が集結

集会では、清末愛砂さん（室蘭工業大学大学院教授）が「人権にもとづく平和な社会を」とスピーチ。ミサイル基地いらない宮古島連絡会が厳しい実態を告発しました。いっせいに「いかそう憲法」「とめよう大軍拡」のポテッカーを掲げ、集会後のパレードでも沿道の市民にアピールしました。



大阪自治労連からも多くの仲間が平和のアピール

今月のキーワード

優勝パレードへの
ボランティア要請

大阪府と大阪市は、11月23日の阪神タイガースとオリックスバファローズ優勝記念パレードに際して、各1500人を目標に「来場者の誘導や迂回経路の案内などのボランティア」を職員へ募りました。大阪府職労と大阪市労組は、警察等の関係機関とも十分に連携し、参観者の安全・安心を最優先に考え「業務」として扱うよう府・市へ要請しましたが「2003年にもボランティアを募った」と変わりません。一方、兵庫県は「公務」として県・神戸市職員は休日出勤扱いです。